

「リテールマーケティング（販売士）検定試験」 ネット試験方式の主な概要

1. 施行開始

2021年7月28日（水）（申込受付開始は7月14日（水））

2. 試験会場

商工会議所が認定した全国約150カ所（2021年7月2日現在）のテストセンターで実施（自宅での受験は不可）。

3. 試験方式

1級から3級の全級がネット試験方式となり、テストセンターのパソコンを使用し、インターネットを介して試験を実施。

4. 受験申込方法

「テストセンター」の全国統一申込サイトから、受験希望日時、受験希望会場、受験者情報等を入力し、受験申込みをしたうえで、クレジットカードまたはコンビニ払いにより受験料を決済。

5. 試験日時

随時施行となり、受験者は自身の都合と各テストセンターが定める受験可能日時を調整のうえ、試験日時を決定。

6. 受験から結果判定までの流れ

- ①受験申込みをした試験日時にテストセンターで受験。
- ②受験者ごとに異なる試験問題がインターネットを介して受験者のパソコンに配信され、受験者はパソコン上で解答を入力。
- ③試験終了後、試験システムにより自動採点し、試験結果を判定。
※「科目合格（1級）」「科目免除（2級・3級）」の各制度を利用した受験者については、各種証書の確認作業後（試験日の約2週間後）に合否が確定。
- ④合格者には、後日、販売士認定証（カード）を交付
※合格証は、販売士認定証（カード）に一本化

7. 試験時間

1級：90分 2級：70分 3級：60分

8. 受験料（税込） ※変更なし

1級：7,850円 2級：5,770円 3級：4,200円

9. その他

検定試験の学習教材（公式テキスト）として、「販売士ハンドブック」を（株）キャリアックから発刊。同ハンドブックは流通・小売業をはじめ販売に携わる様々な業界に従事している方向けの実用書としても活用されている。

（株）キャリアックホームページ <https://www.curreac.co.jp/>

<参考>

各級のレベル

1級	経営に関する極めて高度な知識を身につけ、商品計画からマーケティング、経営計画の立案や財務予測等の経営管理について適切な判断ができる。 マーケティングの責任者やコンサルタントとして戦略的に企業経営に関わる人材を目指す。
2級	マーケティング、マーチャンダイジングをはじめとする流通・小売業における高度な専門知識を身につけている。 販売促進の企画・実行をリードし、店舗・売場を包括的にマネジメントする人材を目指す。 幹部・管理職への昇進条件として活用しているところもある。
3級	マーケティングの基本的な考え方や流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解している。 接客や売場づくりなど、販売担当として必要な知識・技術を身につけた人材を目指す。 流通・小売業に限らず、BtoCの観点から社員教育に取り入れている卸売業や製造業もある。

このような方に役立ちます

- デパート、専門店、スーパーなど、大規模小売店の販売員及び売場責任者や店長クラスの方
- 一般小売店の経営者及び従業員
- コスト管理を求められる管理者
- 製造業、サービス業、卸売業などの販売業務担当者
- これから流通・小売業界で活躍したい人



このような効果が期待できます

- 接客に関する基礎知識が身につく
- 取扱商品に関する専門知識が身につく
- 売場や店舗を管理する能力が身につく
- 経済の動き全体からみた店舗経営が身につく

